

第15回 滝沢市地域公共交通会議 議事録

■ 日時：令和5年3月13日（月） 午後2時00分～午後3時50分

■ 場所：ビッグライフ滝沢大ホール

■ 出席委員（23名）（敬称略、順不同）

岡田 洋一（滝沢市副市長）
浦部 和之（岩手県交通株式会社）
八木澤 健（岩手県北自動車株式会社）
田村 淳（ジェイアールバス東北株式会社）
菅原 克也（公益社団法人岩手県バス協会）
佐藤 利樹（一般社団法人岩手県タクシー協会）
大野 尚彦（一般社団法人盛岡地区タクシー協会）
樋口 潤（岩手県交通運輸産業労働組合協議会）
井上 靖宏（滝沢市自治会連合会）
黒澤 明夫（滝沢市老人クラブ連合会）
上野 幸子（滝沢市男女共同参画サポーターの会）
佐藤 光保（社会福祉法人滝沢市社会福祉協議会）
岡崎 久美子（滝沢市PTA連絡協議会）
阿部 正喜（滝沢市商工会）
関澤 真（国土交通省東北運輸局岩手運輸支局）
佐々木 ユカ（岩手県盛岡広域振興局経営企画部）
小野寺 武士（岩手県盛岡西警察署）
前田 真秀（代理）岩井 勝典（東日本旅客鉄道株式会社盛岡支社）
及川 得也（IGRいわて銀河鉄道株式会社）
鈴木 成伸（国土交通省東北地方整備局岩手河川国道事務所）
小野寺 哲（岩手県盛岡広域振興局土木部）
大森 英樹（滝沢市都市整備部）
宇佐美 誠史（岩手県立大学総合政策学部）

■ その他出席者

事務局：11名

■ 配布資料

- 第15回滝沢市地域公共交通会議 次第
- 滝沢市地域公共交通会議 委員名簿
- 第15回滝沢市地域公共交通会議 座席表
- 滝沢市地域公共交通会議設置要綱
- 【資料1】滝沢市地域公共交通網形成計画の施策の取組状況について
- 【資料2】小さな交通需要に対応した交通サービスの検討 [実証実験結果と地域内交通の検討について]
- 【資料3】次期地域公共交通計画の策定及び現行計画の変更について
- 広報たきざわ6月1日号、7月1日号、1月1日号の写し
- 公共交通のうまい使い方ガイド



1 開会

事務局

それではただいまから第15回滝沢市地域公共交通会議を開催いたします。はじめに本日の会の成立についてご報告申し上げます。本日の会議につきまして委員24名中代理の方1名を含めまして23名の皆様にご出席いただいております。なお、宇佐美委員はオンラインでの出席となります。よって滝沢市地域公共交通会議設置要綱第6条第2項の規定によりまして過半数に達していますので、本日の会議が成立することを報告させていただきます。また当交通会議は、要綱第6条第4項に基づきまして原則公開することとしています。後日会議の議事録をホームページに公開いたしますのでどうぞよろしく申し上げます。

続きまして、滝沢市長武田哲よりご挨拶申し上げます。武田市長お願いいたします。

2 市長挨拶

第15回滝沢市地域公共交通会議の開催にあたりまして挨拶を申し上げます。委員の皆様には、本日はお足元の悪い中ご出席いただきありがとうございます。

さて、公共交通は今年度も新型コロナウイルス感染症拡大や原油価格高騰などさまざまな影響を受けております。そして、運転士不足による課題も増えてきております。

このような状況の中、本市では、昨年に引き続き、各交通事業者様への支援金の給付や利用促進策に取り組んでまいりました。

また、コロナの影響により延期しておりました、「小さな交通需要に対応した交通サービスの導入」に係る実証実験を昨年9月に実施いたしました。本日の会議では、その実証実験の内容についてご報告申し上げます。そのほか、今年度に取り組んでまいりました各施策についても、併せてご報告申し上げます。

さらに今年度は、平成29年に策定いたしました「滝沢市地域公共交通網形成計画」の計画終期となっております。本市では、次期計画として複数の市町と連携しながら広域計画を策定することとしております。このことについても、本日、委員の皆様にご説明させていただきます。

結びに、本日の会議では、委員の皆様には、活発なご意見、皆様のお持ちの知見をご提言いただきたいと思っておりますので、どうぞよろしく願いいたします。

簡単ではございますが、挨拶に代えさせていただきます。本日はどうぞよろしく願いいたします。

3 委員紹介

4 会長等選任

事務局 : 任期満了により昨年6月に新たに委員を委嘱させていただき、初めての会議となりますので、滝沢市地域公共交通会議設置要綱第5条第2項に基づき、会長と副会長を、要綱第11条第2項に基づき監事を2名選任させていただきたいと思っております。

要綱では、会長は委員の皆様から互選により選出することとなっておりますが、どのような方法で互選したらよろしいでしょうか。

委員 : 事務局一任

事務局 : 事務局一任との意見をいただきましたが、皆様いかがでしょうか。

委員 : 異議なし

事務局 : それでは、事務局一任とのことです。会長職は、交通に関する学識経験者であり、これまでも会長を務めていただいた「岩手県立大学の宇佐美委員」にお願いしたいと考えておりますが、いかがでしょうか。

委員 : 異議なし

事務局 : 異議がないようですので、宇佐美委員お願いできますでしょうか。

宇佐美委員 : (引き受ける)

事務局 : それでは、皆様拍手で承認いただければと思います。
(全員拍手)

事務局 : オンラインで大変恐縮ですが、宇佐美委員から一言ご挨拶をお願いしたいと思います。

宇佐美会長 : 改めまして、岩手県立大学の宇佐美です。

先ほど、現在の網形成計画が今年度最終となることが市長挨拶にもありましたが、この交通会議の場で活発な議論をしてきた中で、この計画が生まれてきました。今年度は、夏頃に実施したたきざわのりものフェスタや小岩井ウォーク、コロナ禍における事業者への支援金などいろいろな施策を行ってきました。これは、この交通会議があつてのことだと思えます。

これからもこの会議の場で議論を積み重ねて、よりよい交通施策を行っていただければと思っています。またこれからもよろしくお願いいたします。

事務局 : ありがとうございます。

続きまして、副会長ですが、要綱第5条第2項により、構成委員の中から会長が指名することとなっておりますので、宇佐美会長にご指名いただきたいと思いますが、よろしいでしょうか。

宇佐美会長 : 岡田委員にお願いしたいと思いますが、よろしいでしょうか。

岡田委員 : (引き受ける)

事務局 : 岡田委員、よろしくお願いいたします。

続きまして、監事ですが、要綱第11条第2項により、構成委員の中から会長が指名することとなっておりますので、宇佐美会長にご指名いただきたいと思いますが、よろしいでしょうか。

宇佐美会長 : 浦部委員、井上委員にお願いしたいと思いますが、よろしいでしょうか。

浦部委員 : (引き受ける)

井上委員 : (引き受ける)

事務局 : 浦部委員、井上委員、よろしくお願いいたします。

5 議事

事務局 : それでは議事に入らせていただきます。

要綱第6条第1項に基づき、会長が当会議の議長になることとなっておりますが、宇佐美会長がオンラインでの出席となりますので、本日は会長に代わって岡田副会長に議事進行をお願いしたいと思います。

(1) 滝沢市地域公共交通網形成計画の施策の取組状況について

事務局 : ～「滝沢市地域公共交通網形成計画の施策の取組状況について」を【資料1】により説明～

岡田副会長 : ただ今の説明に対して、何か質問やご意見等ありましたらお願いします。

(質疑なし)

岡田副会長 : 宇佐美会長から何かございましたらお願いしたいいたします。

宇佐美会長 : 滝沢市は、公共交通を認識してもらい、親しんでもらう取組みをいかに頑張っているかが冒頭の報告でもみえてきたと思います。

一方で、公共交通を変えていくという部分については、今の認識のとおりだと思いますが、これは次の計画にむけて議論されていくところだと思っています。

17ページの会計年度職員の雇用については、県立大学の学生もいろいろな課に配属させていただいていて、都市政策課には私のゼミから3代連続で配属されて頑張っています。この制度のいいところは、長期のアルバイトなので、インターンシップよりも地方公務員や滝沢市の仕事が理解できることです。今後も続けて実施されるといいなと思います。

また、市職員の盛岡方面の出張における路線バスの利用促進についても、都市政策課だけでなく、他の課も利用している点がいいところだと思います。

岡田副会長 : ありがとうございます。

それでは、次に進みたいと思います。

(2) 小さな交通需要に対応した交通サービスの検討〔実証実験結果と地域内交通の検討について〕

事務局 : ～「小さな交通需要に対応した交通サービスの検討〔実証実験結果と地域内交通の検討について〕を【資料2】により説明～

岡田副会長 : ありがとうございます。

ただいま事務局から説明がありましたが、何か質問やご意見等ありましたらお願いいたします。

佐藤(利)委員 : 13ページのタクシー協会との協議の中で、いろいろな意見が出ていますが、皆さんもご存じのとおり、タクシー運転手は盛岡地区の場合は流しが基本となっており、会社によっては足きりが給料の標準になるなど給料に影響することもあるため、一般に輸送できる地域に行きたがりません。そのため、小需要地区などで予約が入ると、配車まで時間がかかるので、呼んでもなかなか来ないなどの状況になるのではないかと思います。

運転手不足もひとつの要因ですが、どうしても営業の効率のいい地域に集中する状況にあるのではないかと、思います。

事務局 : ご意見ありがとうございます。

令和2年度にタクシー事業者様全社にアンケート調査を行いました。その際にも中山間地域、小需要地域への配車については、委員のおっしゃるようなご意見もいただいております。そちらも課題のひとつと考えておりますので、地域で予約を取りまとめることで、必ず予約が入るという状況で運送していただける形を目指していきたいと考えています。

大野委員 : 今回の実証実験については、小需要地域の最大需要を掘り起こすことが第一目的だったと記憶しています。3ページを見ると、残念ながら無料であっても需要がそれほど高くはないという結果になっています。

今回参加したタクシー事業者からのヒアリング結果もありますが、現在の輸送量に対して法人の事業者が対応するのはなかなか難しいのではないかと、思います。

盛岡交通圏は個人タクシーがあり、滝沢市内に自宅がある個人タクシーは9社あります。個人タクシーは車両の収容場所を自宅にすることができるので、朝の出勤は自宅からになります。滝沢市内を朝出勤する車両のうち、1、2台程度小需要地域を回ってもらうという方法も、令和5年度の計画に組み込んではどうか、と思います。

滝沢市から何らかの支援は必要になるかもしれませんが、法人事業者に配車に無理をさせるよりは、検討に入れてもよろしいのではないかと、思います。

協議の場が必要であれば、私どもから事業者団体に話を持ち掛けることもできますので、ご検討いただければと思います。

事務局 : ご意見ありがとうございます。

実証実験を進めるにあたり、大野委員にはご協力いただきありがとうございます。来年度については、今年度実証実験にご協力いただきましたタクシー事業者様と協議を続けていながら、今アドバイスいただきました個人タクシー様にも相談して

いきたいと思いますので、その際はご協力いただければと思います。ありがとうございます。

佐藤（光）
委員

私たちはこの計画について最初から聞いていまして、どのような形で進んでいくのか、なかなか厳しいのではないかと感じていました。ただ、現実にはこういう数字が出ると思った以上に厳しいなというのが率直な意見です。

この厳しい状況でどのように対応していくかとなると、結局は利用者の方々が利用しやすい制度が必要なのではないかと思っています。そのように対応はしてきたとは思いますが、まだ利用者と私たちが考えることとの乖離があるのではないかなと思います。

自治会やその地区の方から話を聞いたとのことですが、ある程度固定の利用者一人一人から詳しく話を聞いて、どうすれば実際利用してもらえるのかを分析していく必要があるのではないかなと思います。

先ほど大野さんからのお話がありましたが、滝沢市に9人も個人タクシー事業者がいるのであれば、それを利用するのはいい考えだと思います。

もう少し現場に踏み込んだ意見聴取、検討が必要なのではないかと感じました。

事務局

： ご意見ありがとうございます。

今回実証運行にあたり、地区の対象全戸にチラシを配布し、説明会を開催しております。柳沢地区で約40名、姥屋敷地区では約10名の参加者と意見交換をさせていただいております。

委員のおっしゃるとおり、まだまだ地域に入り膝を突き合わせての意見交換が必要だと考えておりますので、令和5年度も地域に入って話し合いを重ねていきたいと思っています。

井上委員

： 実証実験を実施する地域は柳沢地区と姥屋敷地区だけでしょうか。滝沢市は広く他にも同じように困っている地区がありますのでお伺いします。

もう1点、佐藤委員からの意見がありましたが、地区座談会については、地区の人たちがもう来なくてもいいというくらいやらなければ地区座談会にはならないと思いますので、よろしくをお願いします。

事務局

： 対象地区については、柳沢地区、姥屋敷地区の2地区となっています。他の地区についても交通サービスを求める声はありますが、今回は公共交通が少ない2地区に限定して実施しています。今回有効なモデルができましたら、各地域に波及できればと思っています。

2つ目の地元への説明については、委員のおっしゃるとおりだと考えています。さらに小需要地域ですと、地域主体の行動も必要になりますので、引き続き来年度も協議を進めていきたいと思っています。

岡田副会長

： それでは、宇佐美会長から何かありましたらお願いいたします。

宇佐美会長

： 今回の実験で、前段となる、回送時間や距離がどのくらいあるのか、複数で乗り合っている、一人で乗っているというデータがとれた点が意義があることだと思います。

これをもとに行政、事業者、地域がそれぞれ何ができるのかを、顔を合わせて今後議論していくことができるといいなと思っています。

岡田副会長 : それでは、小さな交通需要に対応した交通サービスの検討について、事務局から令和5年度の進め方について説明させていただきました。また委員の方からもご意見等いただきましたので、そちらも合わせながら来年度進めていただきたいと思います。

それでは、ここで5分ほど休憩をとりたいと思います。

ただいま15時20分ですので、15時25分より始めたいと思いますので、よろしくをお願いします。

(3) 次期公共交通計画の策定及び現行計画の変更について

事務局 : ~次期公共交通計画の策定及び現行計画の変更についてを【資料3】により説明~

岡田副会長 : ありがとうございます。

ただいまの事務局からの説明について、何か質問やご意見等ありましたらお願いします。

八木澤委員 : 目標値についてですが、コロナの影響により路線バス利用者が4割減となっておりますが、令和5年は5月からコロナも5類に下がる予定にもなっており、徐々に利用者数が回復する部分もあると思うので、4割減という数字をそのまま使っているのか、と思います。①、②、⑤、⑥は目標値が低いのではないかと思いますので、平成28年の現況値に近い数字が目標値としてはいいのかなと思います。

今日目標値になっている数値は、何も対策をしなくても戻ってくる数値ではないかなと現場の肌感覚としては感じています。これから様々な施策等を行うことを考えますと、目標値は高めにとっておいた方がいいのではないかと考えています。

事務局 : 私たちがお伺いしたところでは、コロナ収束後も新しい生活様式の定着もあり、現況値に戻ることはなかなか難しいということではありましたが、再度バス事業者様の状況を踏まえまして、修正できるかを検討し皆様に目標値についてお知らせさせていただきます。

そのほかの計画の延長等につきましては、ご理解いただければと思います。

岡田副会長 : 目標値につきましては、事務局で再度検討させていただくということでよろしいでしょうか。

委員 : 異議なし

岡田副会長 : そのほか何かございますでしょうか。

それでは宇佐美会長から何かございましたら、コメントをお願いしたいと思います。

宇佐美会長 : 今意見がありました件について、事前の打合わせの際も、低すぎるのではないかと意見は出ささせていただきましたが、どこまで目標値を上げられるのかが難しく、今回このような提案をさせていただいています。現場の意見を伺ってよかったと思います。

広域の交通計画や法定協議会の設置については、私は盛岡市や矢巾町の交通会議の会長も務めています。どの市町も盛岡との関係性があり、やはり一緒にネットワークを作ることが望ましいのではないかと、網計画による取組みを行ってきた中で感じてきました。

これまで関係者で議論した中で広域での法定協議会の設置となりましたが、広域での議論も大切ですが、一方で滝沢市内の交通についての議論も重要でありますので、地元の皆様と引き続き議論していきたいと思っています。

岡田副会長 : ありがとうございます。

それでは、目標値の再検討を進めていただくことと、説明のありました「次期公共交通計画の策定及び現行計画の変更について」は令和5年度進めていただきたいと思います。

(4) その他

岡田副会長 : 続きまして、「(4) その他」ですが、委員の皆様から何かありますでしょうか。

それでは以上をもちまして、議事はすべて終了しましたので、進行を事務局にお返しいたします。委員の皆様ご協力ありがとうございました。

6 その他

事務局 : 続きまして、次第の6「その他」でございますが、皆様から何かございますでしょうか。

委員 : (特になし)

7 閉会

事務局 : それでは閉会にあたりまして、都市整備部長の長内より、一言ご挨拶申し上げます。

事務局 : 都市整備部長の長内です。よろしくお願いいたします。

本日委員の皆様には、長時間にわたり活発なご協議をいただきましてありがとうございました。年度末のご多忙な中の開催となり申し訳ございませんでした。

先ほど説明させていただきました、小需要地域実証実験の結果の取りまとめ、そして盛岡市、矢巾町と共同で作成します地域公共交通計画の取りまとめ、取組の方針の調整に時間を要しまして、このような時期の開催になりました。

来年度以降はもう少し早い時期に開催させていただきたいと思いますので、ご協力をよろしくお願いいたします。

本日は大変ありがとうございました。

事務局 : 以上をもちまして、第15回滝沢市地域公共交通会議を閉会させていただきます。

本日は大変ありがとうございました。